

図書館 だより



第26号
平成20年
11月25日発行

みなさん、こんにちは。いよいよ十一月も終わりに近づきました。冬の始まりを知らせるように、風が冷たくなり、吐く息も白くなりましたね。体調には十分注意して、今年の冬も乗り切りましょう！

さて、今回は前号に引き続き、B3イベント「ブックフェア この本に出会いたかった」～みんなが選ぶ100冊～のみなさんが選ぶ100冊」のご案内です。

図書館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



黒・・・開館日 時間 8:45～18:00

緑・・・土曜開館日 時間 9:00～16:30

赤・・・休館日

Bookフェアで投票数が多かった本の貸し出し開始日

今月の土曜開館日はありませんので、ご注意ください。

Bookフェア この本に出会いたかった ～みんなが選ぶ100冊～

開催期間は残り4日！ 閲覧室へ急げ！



先週から開催しているブックフェアですが、みなさん閲覧室には来ていただけましたでしょうか？連日、多くの方々に足を運んでいただき、ありがとうございます。

さて、そんなブックフェアの開催期間が、あと**四日**になりました。まだ投票を行っていないという方は、ぜひ一度、閲覧室へいらしてください。「読んでみたい！」と思う本が必ず見つかると思います。また、一度投票をしていただいた方でも、「これだけはぜひ図書館に入れてほしい！」と思う本があれば、期間中は何度投票していただいても構いません。この機会に、あなたが読みたいと思う本を図書館に入れてもらいましょう！

投票結果により、図書館に入れることになった**100冊**は、**十二月四日より貸し出しを開始する予定**ですので、楽しみにしてくださいね！



先生方のおススメ本

今回おススメ本を紹介してくださった先生は、

文化心理学科

『濱野 佐代子先生』です。



おススメ本

『人生は廻る輪のように』

エリザベス キューブラ・ロス著

コメント

この本は、精神科医師であるエリザベス・キューブラ・ロスの半生を書いた自伝です。多くの死にゆく患者さんによりそって、そのときに共通する心の過程をとらえ、「死にゆく過程の心理的段階（否認→怒り→取り引き→抑うつ→受容）」を見出した人です。これは、臨死の患者さん、大切な人を失った人や失おうとしている人の心の動きを表しています。このモデルは、医療や心理、福祉の様々な分野で活用されています。

この作者の本で有名なものは、「死ぬ瞬間」ですが、私は特に本書が好きです。なぜなら、精神科医師になるきっかけの物語や、波乱に満ちた彼女の人生の経験が凝縮されて書かれており、「死にゆく過程の心理的段階」との関連が興味深いからです。

とつてもお薦めの本ですが、ただ、分厚いです。手に取ると読めるかなあ？と思ってしまうかもしれません。心配には及びません。惹きこまれて眠れなくなるくらい夢中になることうけあいです。

特に、印象深かったのは、医師への決心を固めた、子ども時代に、食用として飼育されていた黒うさぎの「ブラッキー」の話です。

